

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2025-1-616

課題名 : 大腸癌組織における免疫系細胞の機能の解明に関する研究

1. 研究の対象

2023 年 1 月～2025 年 12 月に当院で大腸癌の手術を受けられた方

2. 研究期間

2025 年 10 月 (研究実施許可日) ～2027 年 3 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2025 年 11 月 15 日

提供開始予定日 : 該当なし

4. 研究目的

大腸癌は我が国で罹患数が最も多く、増加の一途をたどっています。大腸癌は、大腸の慢性的な炎症状態が発症要因の一つと考えられます。慢性炎症状態では、様々な免疫系細胞が大腸組織に集積し、がん微小環境を形成します。それらの免疫細胞の働きを十分に理解することが、大腸癌の新たな治療法の開発において重要な課題です。

我々は、大腸癌組織に集積する免疫系細胞の機能を制御する分子の発現を明らかにし、その免疫細胞の働きと大腸癌の病態との関連性を解析します。

5. 研究方法

大腸癌の病理組織標本を用いて免疫系細胞の機能制御に関連する分子の免疫染色を行います。それらの結果と臨床病理的因子との関連性を解析します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

試料 : 病理組織標本 (ホルマリン固定パラフィン包埋されたもの)

情報 : 臨床病理情報 (年齢、病理診断情報 (TNM 分類等)、術後のフォローアップ期間、再発の有無等) 等

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反 (企業等との利害関係) について

使用する研究費は JSPS 科研費 (課題番号 25K14860) です。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東北大学大学院医学系研究科器官解剖学分野 宮崎啓史

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1

連絡先：022-717-8037

hirofumi.miyazaki.d6@tohoku.ac.jp

当院の研究責任者：東北大学大学院医学系研究科器官解剖学分野 大和田祐二

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合